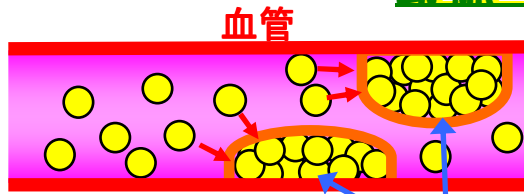




フナピーの動脈硬化抑制作用



動脈硬化について



● コレステロール 動脈硬化巣

血液中の過剰なコレステロールが、動脈硬化の大きな原因となります。血管壁にコレステロールなどがたまって、動脈硬化巣ができます。

血管が詰まりやすくなり、
心筋梗塞
脳梗塞
大動脈瘤
などの原因になります。

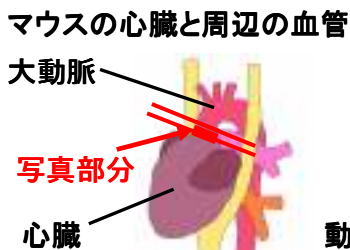
日本人の死因(H.17年 厚生労働省調べ)
第一位 ガン
第二位 心疾患(心筋梗塞など)
第三位 脳血管疾患(脳梗塞など)

動脈硬化モデルマウスを使った実験



遺伝的に動脈硬化を発症するマウスに、普通の餌、または、餌とフナピー(3%)を与えて10週間飼育しました。(各グループ 5匹)

フナピーによる動脈硬化巣形成の抑制



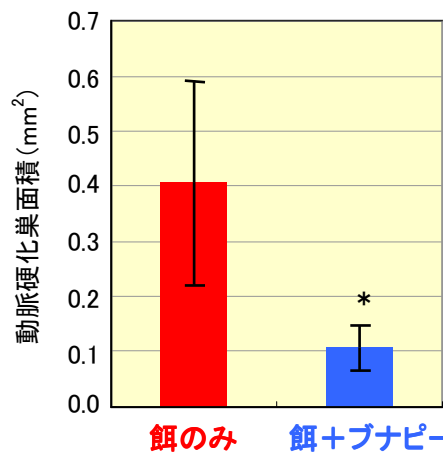
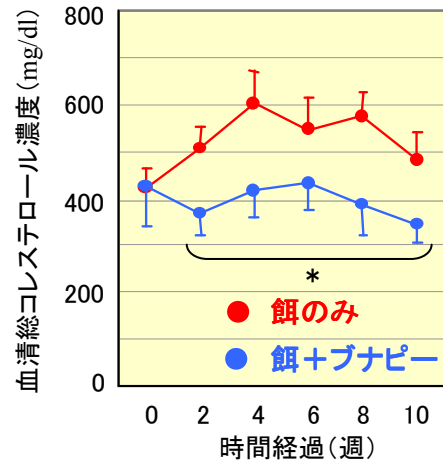
動脈硬化巣 餌のみ



大動脈弁 餌 + フナピー

10週間目に、大動脈の入り口にある動脈硬化巣の大きさを測定しました。(写真 緑色の部分)

フナピーによる血中コレステロールの低下



* : 有意差あり (p<0.05)

フナピーは、血中コレステロールを低下させて、動脈硬化を抑制する効果が期待できます。

『Nutrition Research, Volume 28, Issue 5, p 335-342』に掲載されました。



※無断での複製・転載・使用を固くお断り致します。フナピーはホクトの登録商標です。

ホクト株式会社 本社〒381-8533 長野市南堀138-1 TEL: 026-243-3111(代表)